

12/12 学生議会「幡豆中学校」 フリートークで出された意見

整理番号	生徒の意見	【市長の考えなど】	担当課
1	トンポロ干潟と見影山穴弘法をコラボさせ「夢が叶うまち」とPRしツアーを組むなどの散り組みも面白いという話がありましたが、幡豆地区で何かツアーが組まれたとか実績がありますか。	<p>【商工観光課長】 「はず夢ウォーク」と言って、名鉄西幡豆駅、三河鳥羽駅、東幡豆駅を発着点としたウォーキングコースがあります。コースの中には、見影山の穴弘法やトンポロ干潟などを巡るコースもあります。常設コースもありますが、2月に行われる鳥羽の火祭りなどイベントに合わせて行う場合が年4回ほどあります。申込み不要で気軽に参加することができるウォーキングなので、友達や家族の皆さんにもPRしていただければと思います。 地元の良いところは地元の人が一番良く知っているもので、市内外の人たちに知って欲しい幡豆の魅力など情報がありましたら連絡してください。コース中に組み込むなど検討していきたいと思っています。他には西尾市観光協会が作ったコースで、西尾歴史公園から幡豆地区へ回るようなコースがありますので、「はず夢ウォーク」と合わせてその他コースもPRしていただければと思っています。</p> <p>【市長】 「鳥羽の火祭り」をバスツアーの中に組み入れると多くの参加者が見込めると思いますが、会場内が少し狭くて今は限界があります。敷席もありますが、現在はツアー客が入る余裕がないのが現状です。伝統ある祭りで神事は境内で行われるため、どうしても境内に入れる人数に限られてしまいます。</p>	商工観光課
2	幡豆地区でバスケットボールができる場所が欲しいと思っています。今後、運動できる場所を作ることを考えていますか。室内、室外どちらでもいいです。	<p>【市長】 現在、市内のスポーツ施設について、何が足りていて、何が不足しているか、また、施設をよりよく整備し、大きな大会ができるようにしましょうなどスポーツ競技全体で検討しています。例えば、バスケットボールならば、バスケットボール協会や団体などに練習場所などが足りているか、足りていないかなど現状を聴き、その結果をまとめているところです。具体的に幡豆地区でバスケットボールができる場所が必要か否かなど。バスケットボールに限らず、野球や陸上、サッカーやバレーボールなど、市内でスポーツする人たちがなるべく困らないような環境を整えることが必要だと考えています。</p>	スポーツ課
3	市内に外灯（防犯灯）を増やして欲しいと思います。	<p>【市長】 町内会という組織があり、役員の皆さんが町内の見回り等を行い、「地域内のこの場所が危ない、暗い場所」などと協議し、防犯灯を付けたい旨を市危機管理課に申請する形となっています。市は、各町内会から提出された申請に基づき金銭的な補助をしています。地元の事情を一番把握しているのは町内会の皆さんです。具体的に暗く危険な場所であることがわかっている場合は、保護者の方にその旨を話し、町内会の役員に伝えていただければと思います。</p>	危機管理課
4	愛知こどもの国では大きなイベントが開催されていないように感じます。名鉄電車も通っているし、広大な敷地なので市単位などでイベントを開催してはどうかと思います。	<p>【市長】 愛知こどもの国は県が管理する施設で、今は民間の力を活用して管理する指定管理者制度によりフロンティア西尾というNPO法人が管理運営しています。こどもの国は、西尾市にとっても大切な資源で、多くの方に利用してもらいたいと思っています。市でも何か行事、イベントを計画する際は、こどもの国を会場として開催できないか検討しています。最近では、趣向を凝らした様々なイベントを多数行っていただいているおかげで利用者が増えているので、多くの方々に楽しんでもらっていると感じています。こどもの国で行われるイベントは、対象年齢が保育園児や小学生などを対象としたものがメインで家族連れに人気があります。年間30万人くらいの来場者数で、スタッフの皆さんがこどもの国の特徴などを生かし、知恵を出して面白い取り組みにチャレンジしてくれています。何か面白いアイデアなどがあれば検討させていただきます。市では、「市民の声」制度と言って、市民の皆さんからの意見をお聴きする制度があり、メールや電話、ファックスでも結構ですので、ご連絡いただければと思います。名鉄電車の利用については、こどもの国駅から園内まで少し距離が離れており、西尾蒲郡線の中で一番利用者が少ない状態です。</p>	地域つながり課

12/12 学生議会「幡豆中学校」 フリートークで出された意見

整理番号	生徒の意見	【市長の考えなど】	担当課
5	幡豆地区にポートタウンミューという店舗がありますが、諸事情により生鮮食料品売り場は撤退。専門店街も撤退した店舗が多く、空きスペースが目立っています。広いスペースを有効活用するためにも、小さな子どもたちと地域の高齢者の方々が交流できるような場所を作ってはどうかと思います。	【市長】 ポートタウンミューの問題は、東幡豆地区にとっては大きな問題だと思います。西尾市の施設ではなく民間事業者が運営しているため、直接市が意見することはできませんが、地元事業者をバックアップしている西尾みなみ商工会やポートタウンミュー関係者の皆さんで、空き店舗に入っていただく事業者を探している状態と聞いています。確かにスペースを活用し、地域の交流の場となれば、まちの活性化にもつながると思いますが、スペースを借りるための家賃などの問題もあります。いただいた提案については、関係者に伝えます。	商工観光課
6	幡豆地区には、大きな商店街がありません。商店街などを作って地元を盛り上げ、多世代が住みやすいまちづくりをしてはどうかと思います。	【市長】 市が営利を目的とした店を作ることはできません。現在、幡豆地区で商売をしている事業所の方々にはご意見として伝えたいと思います。商店街は、人口が多い地域や多くの人利用する駅が近くにあるなどの環境でないと利用していただける客数が見込めないで、簡単には形成できないかと思いますが、意見のとおり、まちに商店街があると人の流れなど、そのまちに賑わいが出てくるので大事なことだと思います。	商工観光課
7	幡豆地区には名鉄電車の駅が4つあります。例えば、幡豆の食材を使った料理などを駅の外のスペースなどで販売し、電車を利用して駅を巡るような形でイベントとして行うと名鉄にしがま線利用者も増え、幡豆の食材のPRにもなると思います。	【市長】 「ハズフォルニア」という言葉を聞いたことがありますか。寺部海水浴場では、夏に海の家が営業しているのを知っていますか。ビーチハウスといって4月頃から9月末ぐらいまでオープンしていると思いますが、おしゃれな海の家を営業しています。今、西尾市外から幡豆地区に移住してきた若者たちが、自分たちのできる範囲で幡豆地区を盛りあげようとカフェを開いたり、色々な取り組みを仕掛けてがんばってくれており、そのメンバーの皆さんが「ハズフォルニア」です。彼らが手掛けるショップやカフェには、若い人を中心に県内外から多くの人訪れています。ハズフォルニアのメンバーは、「幡豆が素晴らしいところ」ということを多くの人たちに知ってほしいという熱い思いで行動してくれています。いただいた提案は、一度、ハズフォルニアのメンバーに伝えたいと思います。若いエネルギーな人たちが幡豆には居るということを知って欲しいし、この地域に住む一員として、皆さんも自分たちにもできることがないかなど考えるきっかけにして欲しいと思います。	地域つながり課
8	道路がデコボコしていて危険な箇所がありますが、その場合修繕していただけますか。	【市長】 危険な箇所があればすぐに対応しますので情報提供をお願いします。	土木課
9	幡豆地区の海や山など風光明媚な場所を観光資源として使い、インスタ映えスポットとして情報発信すれば、より多くの人に訪れてもらえると思いますがどうでしょうか。	【市長】 意見のとおりだと思います。海に関しては、ハズフォルニアのメンバーが手掛けている海の家やトンボロ干潟、寺部海水浴場があり注目度も高くなっています。冬場の集客は少し難しいですが、夏場は西尾を代表するスポットになっています。課題は三ヶ根山です。6月から7月頃はあじさいが咲き誇り、多くの方がスカイライン沿いのあじさいを見るために訪れてくれます。確かに景色としては素晴らしいですが、それだけでは人が来てくれる時代ではありません。知恵を絞っていかないと三ヶ根山は厳しいと感じています。人の心をつかむだけの仕掛けがまだできていません。山頂からの景色はインスタ映えすると思いますが、山頂にはおしゃれなカフェやパン屋などがきると人の流れが変わると思います。三ヶ根山についても、人が賑わうような仕掛けをしていきたいと考えています。	商工観光課

12/12 学生議会「幡豆中学校」 フリートークで出された意見

整理番号	生徒の意見	【市長の考えなど】	担当課
10	<p>高校進学を考えています。名鉄にしがま線がいつ廃線になってしまうか不安です。にしがま線をもっと多くの人たちに利用してもらいたいと思っています。利用を促進するようなイベントなどを行えるといいと思います。</p>	<p>【市長】 一番利用者が少なかった時期で年間300万人弱、今は340万人を超えたくらいになっており、少しずつではありますが利用者は増えています。万が一廃線ということになれば、西尾市として大きなダメージです。西尾市としては何としても残していきたいと考えています。現在、令和2年度までの存続が決まっています。その後の事については、名鉄と話し合いをしている最中です。市民の皆さんの努力のおかげで利用が増えているという状況なので、令和3年度以降の話し合いでは良い材料になると感じています。イベントの開催などについては、今も利用促進を目的として市民の皆さんと協力し開催しています。駅周辺に住宅が建設されたり、工場が建設されたりすれば、通勤通学で利用する人が増えますが、現状、駅周辺の土地利用に厳しい規制があり、なかなか難しい状況です。土地利用については、特に農地は規制が厳しくなっています。今後は、企業等にも協力を仰ぎながら、さらに利用者数が伸びるように来年度以降本格的に利用促進事業に取り組んでいきたいと考えています。イベントの開催だけでは限界があります。通勤通学で使ってもらえる人を増やすためにどうすればよいかということを考え、名鉄西尾蒲郡線が廃線にならないよう取り組んでいきます。</p>	地域つながり課
11	<p>三ヶ根山の近くに住んでいます。周辺道路では、尾張ナンバーや名古屋ナンバー、時には関西方面のナンバーなども見かけ、遠方から幡豆地区を訪れてくれています。三ヶ根山は、6月～7月にかけてあじさいが咲き誇り、山頂にはホテル（グリーンホテル三ヶ根）もあります。「あじさい」や「三ヶ根山」などは自慢できる地域資源ではありますが、もっと観光客を増やすためには外からの目を見た西尾の魅力を知ること大切だと思います。</p>	<p>【市長】 客観的な視点はとても大切だと思います。例えば、ホテルや民宿など宿泊施設に協力していただき、宿泊者からアンケートを取ることも一つの方法だと思いますので、今後検討していきたいと思っています。</p>	商工観光課